

事務事業評価調書

事務事業名	中央図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法 吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	中央図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を安全に快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	中央図書館の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンス等を行い適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		35,755	34,193	35,524	33,829	37,299							
	人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10						
		総額(B)	千円	9,130	8,742	9,188	9,188	8,987						
	総事業費(A+B)		44,885	42,935	44,712	43,017	46,286							
	特定財源(C)		780	717	804	707	804							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	780	717	804	707	804							
	市負担(D)		44,105	42,218	43,908	42,310	45,482							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		44,105	42,218	43,908	42,310	45,482								
財源計(C+D)		44,885	42,935	44,712	43,017	46,286								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)他										
			②											
			③											
	主な委託内容		建物警備、清掃、機械設備保守											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	161,706.00	162,963.00	162,963.00	
			実績値	(単位:人)	75,657.00	76,212.00		
			達成度(%)		46.8	46.8		
	目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.54	0.56	
				一般財源(単位:千円)		0.53	0.56	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	646,824.00	651,852.00	651,852.00	
			実績値	(単位:点)	400,946.00	402,895.00		
			達成度(%)		62.0	61.8		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.11	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.11	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市の図書館として最初に建設されてから44年が経過し、その間に中央館として貴重な地域資料をはじめとした文化的価値のある資料の保存機能を担っている。現在では中央図書館の他に6つの地域館も建設されていて、片山地域の図書館として役割も果たしている。しかし、施設の老朽化をはじめとして、耐震化への対応、バリアフリー、ITなど時代に即した対応が出来なくなっていることから来館者から不満の声も聞かれる。早急に移設や建替えなどの再整備が必要である。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00950				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00950
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

中央図書館は、吹田市の図書館の中央館的機能を有しており、行事、講座等に対応できる集会室とともに、資料の保存機能として書庫を備えている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>図書館が建設されてから44年を過ぎており、その間、開館日の増加などによりメンテナンスにかかる費用が増加してきた。また、施設面で経年劣化及びバリアフリーやITなどの時代に即した対応ができなくなっていることから、市民の快適な利用を阻害している。耐震の面でも、建物や設備の大規模改修の必要が生じてきているが、費用の増大が見込まれる。平成28年度には壁面塗装の大規模修繕が予定されている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年11月に吹田市立図書館協議会から「吹田市立中央図書館の再整備のあり方について(答申)」が出された。

事務事業評価調書

事務事業名	千里図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和53年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里図書館及び千里図書館北千里分室											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持												
	結果 (どのような効果が得られるのか)		市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。											
(7) 事業概要	千里図書館及び千里図書館北千里分室の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		441	333	463	367	428							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		2,101	1,923	2,134	2,038	2,062							
	特定財源(C)		0	0	0	107	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	107	0							
	市負担(D)		2,101	1,922	2,134	1,931	2,062							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		2,101	1,922	2,134	1,931	2,062								
財源計(C+D)		2,101	1,922	2,134	2,038	2,062								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)双葉化学商会										
			②											
			③											
	主な委託内容		北千里分室の機械警備他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	195,516.00	200,142.00	200,142.00
			実績値	(単位:人)	216,016.00	212,466.00	
		達成度(%)		110.5	106.2		
	目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
			一般財源(単位:千円)		0.01	0.01	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	782,064.00	800,568.00
	実績値			(単位:点)	741,376.00	742,622.00	
	達成度(%)		94.8	92.8			
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里図書館は、平成24年に新築の建物に移設されたことから、快適な読書環境を提供できている。千里ニュータウン地域の図書館として、利用実績は高い。一方千里図書館北千里分室は、昭和56年に児童対象の図書室として週3日(水・金・日)開室したが、近隣住民より強い要望があり大人向けの図書も貸出し、また開館日についても徐々に増やし現在は他の図書館と同様に毎日開館となっている。地域住民からはソフト及びハード面での拡充の強い要望が出ている。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00951				

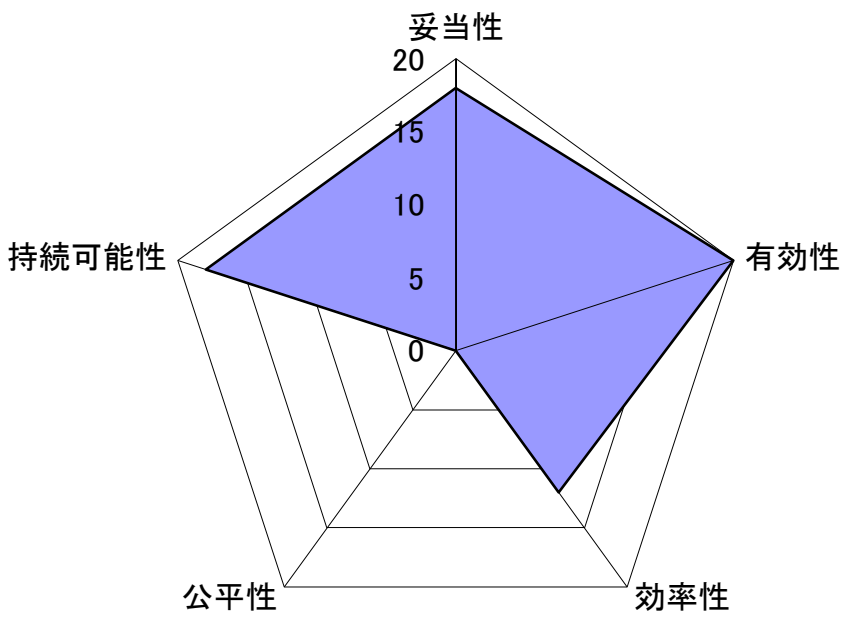
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00951
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準で推移している。千里ニュータウンプラザへの移設により利用者は快適に利用できている。 北千里分室は、閲覧室・事務室ともに狭隘であり、利用要求に見合ったサービスができていない状況であり、千里ニュータウン北部の図書館として、施設の拡充が必要であるが、北千里地区の再開発が未定であるため現状維持となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		71,501	71,147	71,842	70,982	72,737							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		72,331	71,942	72,678	71,818	73,554							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		72,331	71,942	72,678	71,818	73,554							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		72,331	71,942	72,678	71,818	73,554								
財源計(C+D)		72,331	71,942	72,678	71,818	73,554								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	PFIにより実施												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	195,516.00	200,142.00	200,142.00
			実績値	(単位:人)	216,016.00	212,466.00		
		達成度(%)				110.5	106.2	
	目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.33	0.34
				一般財源(単位:千円)			0.33	0.34
	②	指標内容	目標値	(単位:)			0.00	0.00
実績値			(単位:)			0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	貸出点数	目標値	(単位:冊)	782,064.00	800,568.00	800,568.00
			実績値	(単位:冊)	741,376.00	742,622.00		
		達成度(%)				94.8	92.8	
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度までは10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.10	0.10
				一般財源(単位:千円)			0.10	0.10
	②	指標内容	目標値	(単位:)			0.00	0.00
実績値			(単位:)			0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準を示している。管理経費はPFI事業のため一定している。施設環境は、快適で一層の利用が見込まれる。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00952				

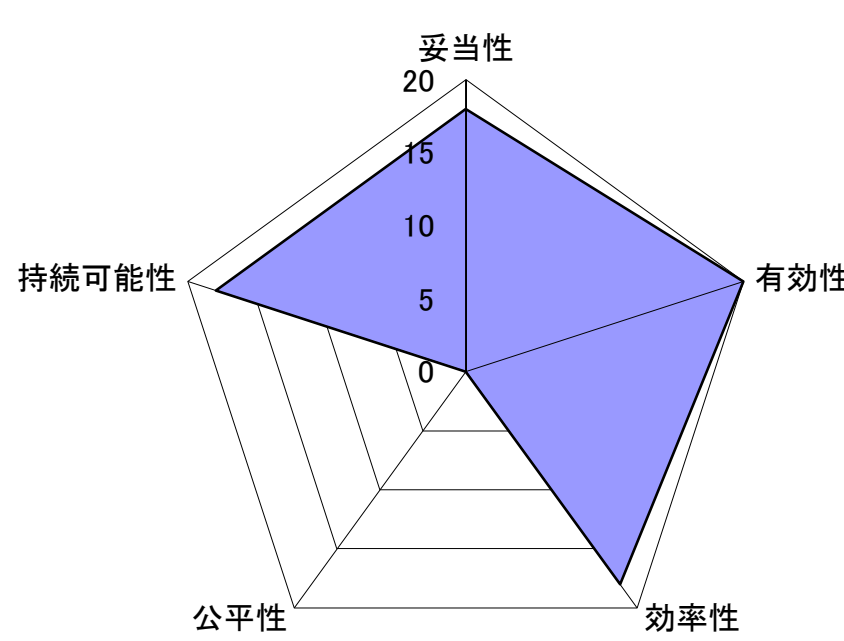
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00952
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウンプラザに移設し、利用が増大した。、施設管理経費についてはPFI事業のため一定している。サービスの水準が一定に保たれ、利用者は快適に利用できる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	さんくす図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	さんくす図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設管理の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	さんくす図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンスを行い、適切な管理事業を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		47,604	49,171	49,973	49,791	50,406							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.50						
		総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012	4,085						
	総事業費(A+B)		52,584	53,940	54,985	54,803	54,491							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		52,584	53,939	54,985	54,803	54,491							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		52,584	53,939	54,985	54,803	54,491								
財源計(C+D)		52,584	53,939	54,985	54,803	54,491								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)他										
			②											
			③											
	主な委託内容		清掃他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	105,168.00	104,697.00	/
			実績値	(単位:人)	103,272.00	99,840.00	
		達成度(%)		98.2	95.4		
	目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.52	0.55		
			一般財源(単位:千円)	0.52	0.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	420,672.00	418,788.00	/
			実績値	(単位:点)	356,334.00	349,571.00	
		達成度(%)		84.7	83.5		
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.15	0.16		
			一般財源(単位:千円)	0.15	0.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		JR以南地域の図書館施設として重要な役割を果たしている。平成26年度からは大阪市との広域利用を実施し、大阪市民の吹田商業施設の利用につながっている。施設管理経費の大半は建物の賃借に係る経費となっていて、平成27年度は共益費の値上がりにより増加しているが賃貸料の値下げ交渉を行うなど、これ以上の増大を招かないように努め、継続して施設管理を行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00953				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00953
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅ビルに入居する施設であるため、事業費の大半は建物の賃借にかかる経費となっている。平成26年7月から共益費が改定され、また平成28年2月から共用部分にICゲートを設置したため使用料が発生し、事業費は増加している。さんくす図書館の供用開始は平成5年からだが、建物自体は昭和54年の建築であり、老朽化が進んでいる。耐震補強改修工事が平成26年5月末に完了し、安全面の確保は図られた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	江坂図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	江坂図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理、メンテナンスによる良好な環境の維持 利用者が施設を快適に利用できる。また、施設の安全な長期利用を図る												
(7) 事業概要	江坂図書館の施設の維持、利用者の安全確保のためのメンテナンスの実施等、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,828	4,950	4,677	4,178	5,025							
	人件費	職員数	人	0.54	0.54	0.51	0.51	0.54						
		総額(B)	千円	4,482	4,292	4,260	4,260	4,412						
	総事業費(A+B)		9,310	9,242	8,937	8,438	9,437							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		9,310	9,241	8,937	8,438	9,437							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		9,310	9,241	8,937	8,438	9,437								
財源計(C+D)		9,310	9,241	8,937	8,438	9,437								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①		松本設備サービス(株)他									
			②											
			③											
	主な委託内容		清掃 他											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	187,176.00	193,749.00	/
			実績値	(単位:人)	106,868.00	101,200.00	
			達成度(%)		57.1	52.2	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.09	0.08	
	一般財源(単位:千円)			0.09	0.08		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	748,704.00	774,996.00	/
			実績値	(単位:点)	391,577.00	376,748.00	
			達成度(%)		52.3	48.6	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標、平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.02	0.02	
	一般財源(単位:千円)			0.02	0.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		江坂地域の図書館として重要な役割を果たしており、必要性は増しているが、施設は狭隘で拡充が望まれている。また、築20年が経過し設備の老朽化が進んでいるが、その中でも修繕の必要があった空調設備については、平成27年度秋に改修工事が完了し、冬季以降市民が快適な環境で利用できるようになった。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00954				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00954
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes. The top axis is '妥当性' (Justification) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness) with a scale from 0 to 20. The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency) with a scale from 0 to 20. The bottom axis is '公平性' (Fairness) with a scale from 0 to 20. The left axis is '持続可能性' (Sustainability) with a scale from 0 to 20. The shaded area shows scores: 妥当性 (15), 有効性 (10), 効率性 (10), 公平性 (10), and 持続可能性 (10).</p>		
(3)現状分析	<p>建設から19年を経過し、設備等の劣化がみられ、一部には修理・修繕費用が大きすぎて着手できない箇所も増えてきているが、平成27年度は空調設備の大規模修繕を行った。施設の利用者は、近隣に勤務している方や、小さい子を連れた親子の利用が多い。年々蔵書が増加している反面、施設が狭あいとなってきている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山・佐井寺図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里山・佐井寺図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		31,737	31,169	32,343	29,981	39,987							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	0.90						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	7,353						
	総事業費(A+B)		40,037	39,116	40,695	38,333	47,340							
	特定財源(C)		66	40	24	38	31							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	66	40	24	38	31							
	市負担(D)		39,971	39,076	40,671	38,295	47,309							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		39,971	39,076	40,671	38,295	47,309								
財源計(C+D)		40,037	39,116	40,695	38,333	47,340								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	総合建物管理(株)										
			②	松本設備サービス(株)										
			③											
	主な委託内容		警備・清掃											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	188,955.00	191,568.00	191,568.00	
			実績値	(単位:人)	112,899.00	114,418.00		
			達成度(%)		59.7	59.7		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.35	0.34	
				一般財源(単位:千円)		0.35	0.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	755,820.00	766,272.00	766,272.00	
			実績値	(単位:点)	486,788.00	493,264.00		
			達成度(%)		64.4	64.4		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.08	0.08	
				一般財源(単位:千円)		0.08		0.08
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里山・佐井寺地域の図書館として多くの市民に利用されている。また、中央図書館と同規模の大きな図書館であると同時に、一般に開放している多目的施設は、近隣住民の交流の拠点としてまた、文化活動の場としての役割を果たしているため施設の必要性は大きい。築後12年が経過し施設を長期的に活かすための修繕等の計画を必要としている。平成28年度には西館の木造壁の塗装を行う予定である。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00955				

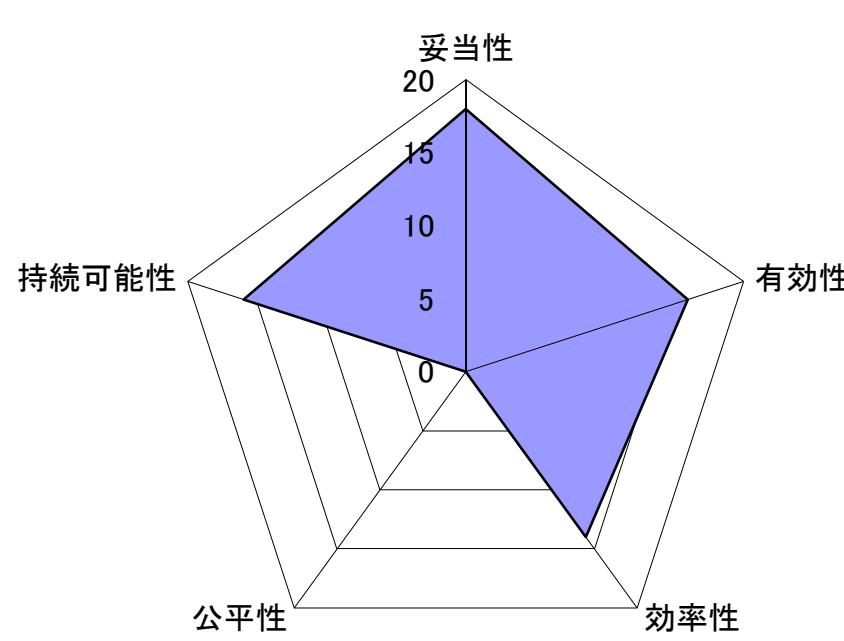
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00955
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>貸出利用人数や行事への参加者が増え、管理にかかる費用も増えてきている。乳幼児から高齢者、障がい者を含めた幅広い不特定多数の市民が利用する施設として、市民に安心して利用してもらうためには、安全・快適な環境を保つ必要がある。</p> <p>供用開始から今年で12年となり、機器の修理や交換件数がますます増えてきている。今後、全館の防火・防災設備や衛生的環境確保、高圧受電設備、空調設備の部品交換やメンテナンスなどにかかる費用が増える見込みである。西館の木造外壁塗装については、平成28年度中に修繕を予定している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田駅前図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	山田駅前図書館及び山田駅前図書館山田分室											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適正な管理による良好な施設環境の維持												
	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。													
(7) 事業概要	山田駅前図書館及び山田分室の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンスを行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		15,261	14,781	17,043	16,113	16,795							
	人件費	職員数	人	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75						
		総額(B)	千円	6,225	5,961	6,264	6,264	6,128						
	総事業費(A+B)		21,486	20,742	23,307	22,377	22,923							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		21,486	20,742	23,307	22,377	22,923							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	21,486	20,742	23,307	22,377	22,923							
財源計(C+D)		21,486	20,742	23,307	22,377	22,923								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	東芝エレベーター(株)他										
			②											
			③											
	主な委託内容		昇降機保守											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	山田駅前図書館が入っている夢つながり未来館は指定管理を行っている。												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	129,240.00	128,241.00	128,241.00
			実績値	(単位:人)	176,239.00	172,465.00	
			達成度(%)		136.4	134.5	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.12	0.13	
	一般財源(単位:千円)			0.12	0.13		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	515,904.00	512,964.00	512,964.00
			実績値	(単位:点)	708,602.00	694,165.00	
			達成度(%)		137.4	135.3	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.03	0.03	
	一般財源(単位:千円)			0.03	0.03		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		山田分室は、昭和62年に山田地域の図書館として山田出張所の上に増築された。地域の図書館としては狭隘であることから、平成22年山田駅前の青少年拠点施設の中に山田駅前図書館が建設された。地域住民の強い要望により旧山田図書館は、山田駅前図書館の分室として存続することになり、地域に密着した図書室として根強い利用がある。一方山田駅前図書館は、駅前の好立地にあり青少年施設である青少年サポートプラザ、子育て支援施設であるのびのび子育てプラザと連携し多事業を実施し、多くの利用がある。山田分室は、平成22年度に施設の改修工事が行われ市民が快適に利用できるようになった。山田駅前図書館については、施設管理を夢つながら未来館で一括で指定管理することにより経費の削減に努めている。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00956				

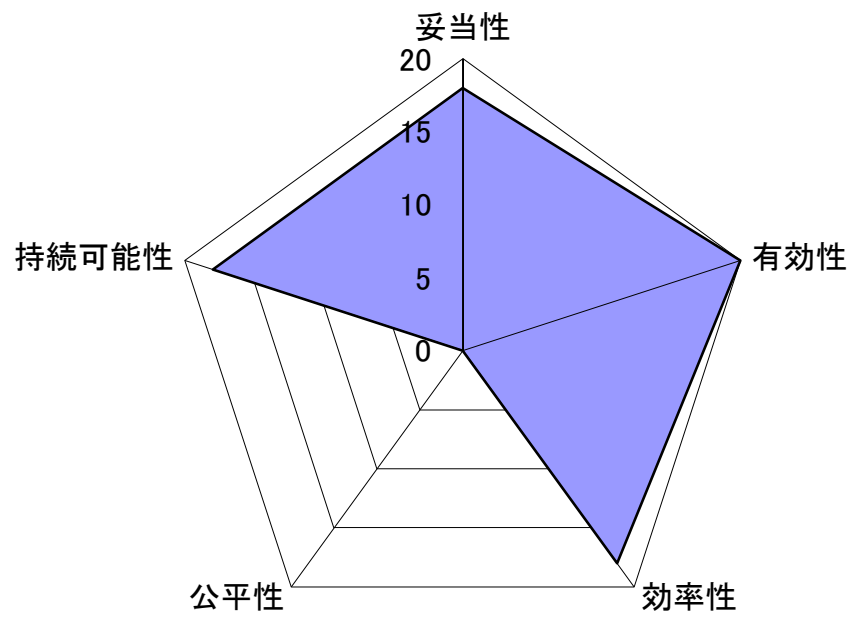
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00956
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>山田駅前図書館は山田地域の図書館施設として、夢つながり未来館の他の施設と連携しながら運営を行い、開館当初より多くの利用がある。また、山田分室は、高齢者や児童を対象に地域と密着した運営を行っており、図書館として地域から必要とされている。</p> <p>施設管理においては、山田駅前図書館は、夢つながり未来館の青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザと一体化した管理を行っている。平成26年度から、より効率的な業務を行い市民サービスの向上を図るべく、施設管理業務について指定管理者制度の導入を実施している。</p> <p>山田分室は平成22年度に施設の改修を行い、市民が快適に利用できる施設の提供に努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里丘図書館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里丘図書館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。												
(7) 事業概要	千里丘図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	2	中事業	7	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,680	6,260	6,718	5,960	6,597							
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70							
		総額(B)	千円	5,810	5,563	5,847	5,847							
	総事業費(A+B)		12,490	11,823	12,565	11,807	12,316							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		12,490	11,823	12,565	11,807							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		12,490	11,823	12,565	11,807	12,316							
財源計(C+D)		12,490	11,823	12,565	11,807	12,316								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 大阪美装工業(株)											
			② (株)ビケンテクノ											
	主な委託内容		清掃・機械警備											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延利用者数(貸出利用者数)	目標値	(単位:人)	112,524.00	121,170.00	121,170.00
			実績値	(単位:人)	98,503.00	103,495.00	
			達成度(%)		87.5	85.4	
		目標値の積算方法 ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.12	0.11	
	一般財源(単位:千円)			0.12	0.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	450,096.00	484,680.00	484,680.00
			実績値	(単位:点)	460,190.00	483,929.00	
			達成度(%)		102.2	99.8	
		目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.03	0.02	
	一般財源(単位:千円)			0.03	0.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成24年度に千里丘地域の図書館として開館。市民から待ち望まれていた施設で、多くの利用がある。長期使用ができるように、今後も継続して施設の維持管理が必要である。緑化ボランティアによる屋上緑化の維持や、駐車場の有料化により経費の削減をしている。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00957				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00957
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	<p>千里丘地域の図書館として、地域から待ち望まれた施設であり、平成24年度の開館から多くの利用をいただいている。開館して4年目になるが、現状はまだ修繕等の費用は発生していない。緑化ボランティアによる屋上緑地の維持や、駐車場の有料化で経費の負担を軽減している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中央図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の人												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)													
		市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。													
(7)	事業概要	中央図書館及び自動車文庫1台で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。自動車文庫は、図書館利用に不便な地域である24か所に1か月に1回巡回して貸出する他、吹田市内の地域・家庭文庫、読書会、幼稚園、保育所、小学校、留守家庭児童育成室、中学校、老人福祉施設などに団体貸出を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		211,229	206,563	214,934	202,661	217,791							
		人件費	職員数	人	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00						
			総額(B)	千円	66,400	63,576	66,816	66,816	65,360						
		総事業費(A+B)		277,629	270,139	281,750	269,477	283,151							
		特定財源(C)		568	488	563	466	559							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	568	488	563	466	559							
		市負担(D)		277,061	269,651	281,187	269,011	282,592							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	277,061		269,651	281,187	269,011	282,592									
財源計(C+D)		277,629	270,139	281,750	269,477	283,151									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	北港観光バス(株)										
				②	ヤマツナーナジ(株)										
				③											
		主な委託内容		自動車文庫運転・図書資料等搬送											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 全館の蔵書冊数	目標値	(単位:冊)	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	
			実績値	(単位:冊)	1,003,760.00	1,024,560.00		
			達成度(%)		100.4	102.5		
	目標値の積算方法	人口30万以上の都市貸出数上位10%の市町村の蔵書冊数平均値の近似値である100万冊	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.13	0.26	
				一般財源(単位:千円)		0.13	0.26	
	②	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	0.00
実績値				(単位:%)	7.17	8.22		
達成度(%)				71.7	82.2			
目標値の積算方法		受入数÷開架冊数×100	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18,033.75	32,783.09	
	一般財源(単位:千円)				17,969.04	32,726.40		
(2) 成果指標	①	指標内容 個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	646,824.00	651,852.00	651,852.00	
			実績値	(単位:点)	363,328.00	365,620.00		
			達成度(%)		56.2	56.1		
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.36	0.74	
				一般財源(単位:千円)		0.35	0.74	
	②	指標内容	レファレンス(相談件数)	目標値	(単位:件)	2,831.00	3,055.00	3,483.00
実績値				(単位:件)	3,055.00	3,483.00		
達成度(%)				107.9	114.0			
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		88.43	77.37	
	一般財源(単位:千円)				88.27	77.24		
(3) が困難な場合	①	活動内容	図書館全体のサービスの統括、計画、立案			目標	図書館利用不便地域への図書館整備及び中央図書館再整備	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		片山・岸部地域の地域館としての役割だけでなく、本市の6つの地域館及び2つの分室の中心となる図書館として、図書館サービスの統括と企画・立案部分を担っている。また、地域資料(吹田市に関する資料、地域の人々が作った資料及び行政が発行する資料)を積極的に収集し、整理して保存、提供することで郷土の歴史を後世に残すとともに、地域の住民の生活に役立っている。書庫には約17万冊の資料を収蔵し、千里山・佐井寺図書館とともに、図書館の資料保存の機能を果たしている。これらの資料を背景に全館のレファレンスサービス(相談業務)の支援を行っている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00958				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00958
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」及び「吹田市立図書館基本構想」に基づき、子どもに本を読む喜びを知ってもらうよう、子どもの読書環境を整備するため小中学校を中心に連携を進めている。団体貸出、図書館見学、読書相談や調べもの学習への対応、職場体験などいろいろなサービスを行っている。読書啓発を目的とした学校訪問(ごりまる学校訪問)、もうよんだかなセット(年度毎に作成している司書が推薦する新刊を案内した冊子に掲載された図書を学年別にセットにしたもの)の学期ごとの貸出や、図書館のホームページに図書館の取り組みを紹介する学校支援のページの作成、自動車文庫による団体貸出の配達(ごりまる便)を平成26年度には月1回から2回に増やすなど、学校にとって図書館を利用しやすい環境を整え、学校支援を続けている。図書館空白地区の岸部地区に自動車文庫の駐車場3か所を新設した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>中央図書館は、企画立案を行い全館の運営事業の統括を行っている。最寄駅からの距離や、建物の老朽化などから来館者数の増加は期待できないが、書庫を含めた蔵書数は25万冊を超え、その資料をバックボーンとする相談業務は受付件数も多く、また全館の相談業務への支援を行っている。中央図書館の機能として地域資料の網羅的収集と保存、また、ボランティアの育成とともに、職員が学校や保育園等に出かけていく出前講座等、読書推進活動の中心的役割を担っている。施設面においては、築43年を経過していることから耐震やバリアフリーにも未対応であり、本市市立図書館の中核をなす館として施設面やサービス面で多くの課題を抱えているため、今後建替えの検討が急がれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和53年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の個人、団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する												
(7) 事業概要	千里図書館及び北千里分室で事業を実施。年末年始を除き、毎日午前10時から午後6時まで(千里図書館は木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスをしている。その他、千里図書館の特色あるサービスとして、市民の多文化理解と在住外国人の読書環境の充実を目指して外国語資料や、日本語を学ぶための資料を収集、保存して提供を行い、外国人との交流の場を設けるなどの多文化サービスを行っている。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		44,898	44,608	44,894	44,651	44,278							
	人件費	職員数	人	5.06	5.06	5.26	5.26	5.06						
		総額(B)	千円	41,998	40,212	43,932	43,932	41,341						
	総事業費(A+B)		86,896	84,820	88,826	88,583	85,619							
	特定財源(C)		55	41	52	42	57							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	55	41	52	42	57							
	市負担(D)		86,841	84,779	88,774	88,541	85,562							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		86,841	84,779	88,774	88,541	85,562								
財源計(C+D)		86,896	84,820	88,826	88,583	85,619								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		図書館窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	7.61	6.42		
		達成度(%)		76.1	64.2			
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年を目途に蔵書の入替を行う	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11,145.86	13,797.98	
				一般財源(単位:千円)		11,140.47	13,791.43	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	782,064.00	800,568.00	/
			実績値	(単位:点)	738,026.00	739,546.00		
		達成度(%)		94.4	92.4			
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.16	0.12	
				一般財源(単位:千円)		0.16	0.12	
	②	指標内容	レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	6,359.00	7,229.00	
実績値			(単位:件)	7,229.00	6,718.00			
達成度(%)			113.7	92.9				
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.73	13.19	
	一般財源(単位:千円)				11.73	13.18		
(3) が困難な場合	①	活動内容	多文化サービスに取り組み、外国語資料、絵本を多数収集している。また外国語での絵本の読み聞かせなどを、市内大学生ボランティアや留学生等の協力により実施している。			目標	在住外国人の読書環境の充実と市民の多文化理解を深める	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		千里図書館及び北千里分室は、千里ニュータウン地域の図書館として多くの利用者で賑わっている。高齢化によるシニア世代の増加が著しいニュータウン地域だが、マンションの建て替えなどにより子育て世代の人口が増えており、千里ニュータウンプラザ内に移転し、施設が新しくなったことで、子育て世代の利用も増えており今後も多くの利用が見込まれる。北千里分室は、駅周辺のマンションの建て替えで若い世代が増えていくが、施設は狭隘で今以上のサービス展開ができないことから、地域の住民から拡充の要望が出ており、現在北千里駅周辺の活性化をめぐる議論の中で検討を行っている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00959				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00959
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館が設置されている千里ニュータウンプラザ内には、公民館の他、平和祈念資料館や吹田市国際交流協会、市民公益活動センター等市民生活に必要な様々な施設が入っており、テーマに応じた連携や協力を行っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館及び北千里分室は、千里ニュータウン地域の図書館として市民の暮らしに役立つサービスを行っている。千里図書館は、専用の相談カウンターを設け、平成25年8月の窓口業務一部委託に伴い市職員の窓口業務を相談業務に絞ることにより、委託前に比較して相談件数は2倍近く増加し、レファレンスサービス(相談業務)が市民に定着しつつある。貸出が図書館の中では一番多い。また、多文化サービスを特色としており、吹田市国際交流協会が同じ施設内にあることから日本語を学ぶ外国人への援助や外国人との交流の場として今後の取り組みが期待される。北千里分室は、閲覧室、事務室とも狭隘で、利用要求はあるが、それに見合ったサービスができていない状況である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	さんくす図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内在住、在勤、在学の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	さんくす図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等の資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別に児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		40,950	40,888	40,711	40,710	39,322							
	人件費	職員数	人	3.80	3.80	3.90	3.90	3.00						
		総額(B)	千円	31,540	30,199	32,573	32,573	24,510						
	総事業費(A+B)		72,490	71,087	73,284	73,283	63,832							
	特定財源(C)		48	46	47	45	48							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	48	46	47	45	48							
	市負担(D)		72,442	71,041	73,237	73,238	63,784							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		72,442	71,041	73,237	73,238	63,784								
財源計(C+D)		72,490	71,087	73,284	73,283	63,832								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出、返却等窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:%)	6.86	6.09		
		達成度(%)		68.6	60.9			
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で入替を目標にしている	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13,229.59	12,033.33	12,025.94
				一般財源(単位:千円)		13,222.89	12,025.94	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	420,672.00	418,788.00	418,788.00
			実績値	(単位:点)	355,450.00	348,588.00		
		達成度(%)		84.5	83.2			
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.20	0.21	
				一般財源(単位:千円)		0.20	0.21	
	②	指標内容	レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	4,516.00	4,283.00	4,315.00
実績値			(単位:件)	4,283.00	4,315.00			
達成度(%)		94.8	100.7					
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		21.19	16.98	
	一般財源(単位:千円)				21.18	16.97		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市の就労支援事業であるJOBなび、JOBカフェと連携し、就労支援として資格取得のためのテキストや就職のための情報を提供している。			目標	就労を支援する	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		JR以南地域の図書館として、立地の良さを生かして幅広いサービスを展開している。近くの市施設との連携し、地域の特色を生かした運営で市民に親しまれている。駅前の立地であることから夜間の利用も多い。また、バスターミナルに近く、視覚障がい者の方が利用しやすいことから対面朗読の回数が非常に多い。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00960				

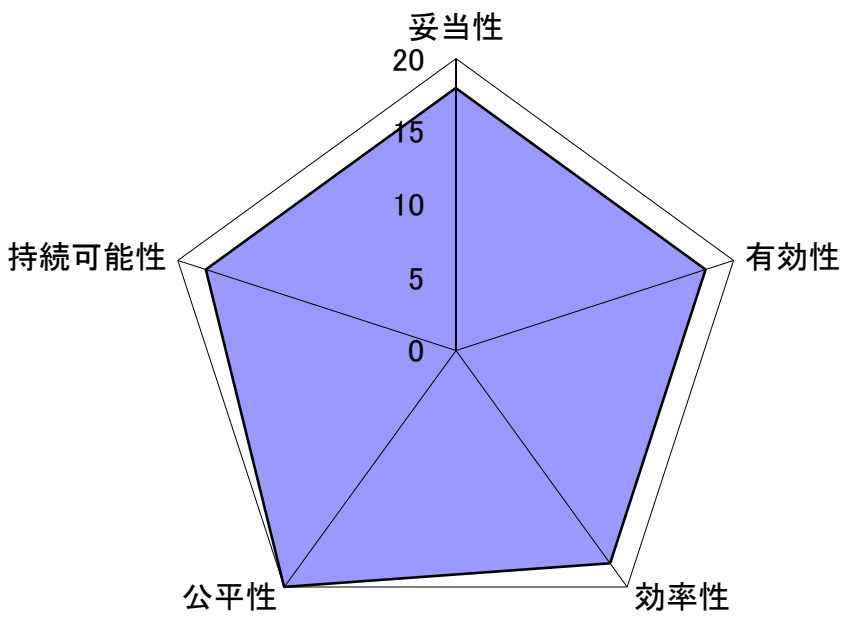
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00960
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>JR以南地域の図書館であるさんくす図書館は、駅や商店街に隣接しており買い物客等が利用しやすい図書館である。また、交通利便性が高く障がい者の利用も多い。地域の特性に合わせた資料の提供を行い乳幼児から高齢者や障がい者のニーズに応じたサービスを行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	江坂図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の個人及び団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	江坂図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	4
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,256	5,262	5,245	5,203	5,166							
	人件費	職員数	人	4.16	4.16	4.16	4.16	4.16						
		総額(B)	千円	34,528	33,060	34,745	34,745	33,988						
	総事業費(A+B)		39,784	38,322	39,990	39,948	39,154							
	特定財源(C)		46	43	44	20	45							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	46	43	44	20	45							
	市負担(D)		39,738	38,279	39,946	39,928	39,109							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		39,738	38,279	39,946	39,928	39,109								
財源計(C+D)		39,784	38,322	39,990	39,948	39,154								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	7.55	7.49		
		達成度(%)		75.5	74.9			
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料の入替を行う。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,483.84	5,333.51	
				一般財源(単位:千円)		7,480.26	5,330.84	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	748,704.00	774,996.00	/
			実績値	(単位:点)	389,924.00	374,743.00		
		達成度(%)		52.1	48.4			
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.11	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.11	
	②	指標内容	レファレンス相談件数	目標値	(単位:件)	1,081.00	895.00	
実績値			(単位:件)	895.00	1,712.00			
達成度(%)		82.8	191.3					
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		42.82	23.33		
			一般財源(単位:千円)		42.77	23.32		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		ビジネス街やマンションが隣接している豊津・江坂・南吹田地域の図書館として、通勤者や家族連れの利用が多い。中でもブックスタート事業への参加者が他の図書館に比べ圧倒的に多く、地域の子育て支援の中心としての役割も果たしている。また、8月と2月を除き毎月市民との共催で行われる江坂ロビーフェスタには多くの人が訪れていることから、図書館利用への潜在的な要求は高い。しかし、施設は狭隘であり、閲覧席も少なく、親子が靴を脱いでゆったりと絵本を楽しむコーナーなどもないことから拡充が望まれている。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00961				

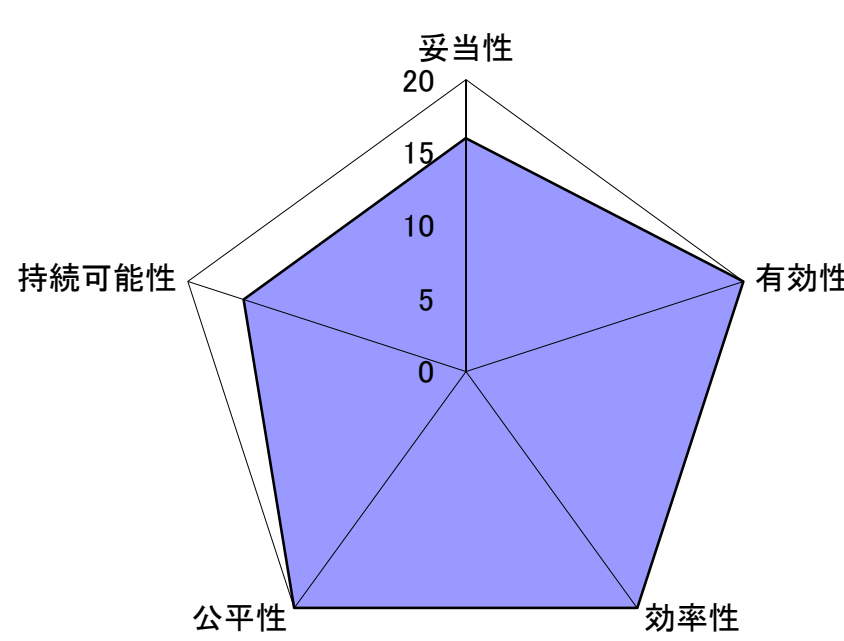
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00961
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ビジネス街やマンションが隣接している豊津・江坂・南吹田地域の図書館として、通勤者や近隣に住む幼児とその家族連れの利用が多い。市民との共催で舞踊や朗読劇、あるいは演奏会を実施している江坂ロビーフェスタは、通算100回を超え毎年1,000名以上が参加されるイベントとなり地域の方から親しまれ、いろいろな文化に触れる良い機会となっている。一方、地域館としては、狭隘でゆったりとした読書ができる閲覧室や、靴を脱いで親子で絵本を楽しむことができるスペースがないことから、拡充の要望が出ている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山・佐井寺図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	5
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		40,546	40,471	40,543	41,692	39,183							
	人件費	職員数	人	4.05	4.05	4.05	4.05	3.50						
		総額(B)	千円	33,615	32,186	33,826	33,826	28,595						
	総事業費(A+B)		74,161	72,657	74,369	75,518	67,778							
	(内訳)	特定財源(C)		56	33	47	36	42						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		56	33	47	36	42						
	(内訳)	市負担(D)		74,105	72,624	74,322	75,482	67,736						
		地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0							
一般財源			74,105	72,624	74,322	75,482	67,736							
財源計(C+D)		74,161	72,657	74,369	75,518	67,778								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター 大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出業務、返却業務などの窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	6.72	5.96	
			達成度(%)		67.2	59.6	
	目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,648.51	12,670.81	
				一般財源(単位:千円)	14,642.71	12,664.77	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	755,820.00	766,272.00	/
			実績値	(単位:点)	483,646.00	490,535.00	
			達成度(%)		64.0	64.0	
	目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.15	0.15	
				一般財源(単位:千円)	0.15	0.15	
	②	レファレンス(相談件数)	目標値	(単位:件)	5,335.00	7,510.00	
実績値			(単位:件)	7,510.00	8,606.00		
達成度(%)			140.8	114.6			
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	13.11	8.78		
			一般財源(単位:千円)	13.10	8.77		
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里山・佐井寺地域の図書館として仕事や暮らしに役立つ情報を提供している。所蔵冊数も図書館の中で一番多く、ゆったりとした空間のある滞在型図書館であることから市民に親しまれている。西館には地域の団体に貸出している多目的室等の貸室があるが、そこで活動しているグループが図書館行事に参画するなどその活動成果を還元し、図書館が地域交流の場となっている。大規模な書庫があり、中央図書館と並び資料保存機能を有している。レファレンスの受付件数が増大し課題解決型の図書館機能を有している。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00962				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00962
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>古くからの住宅街と近年の千里山駅周辺の整備事業による新しい街からなる千里山・佐井寺地域の図書館として多くの利用がある。書架間隔が広く閲覧席も多数あるゆったりとした空間、市内の図書館の中で一番大きい書庫に収蔵されている多くの資料及び駐車場も備えていることから、市内全域から来館され滞在型図書館として市民に親しまれている。レファレンスに特化したカウンターを設けることで、レファレンス件数が増加している。障がい者サービスの拠点としてボランティアの養成や音訳・点訳図書の貸出を実施している。その他、市民の集会・行事に使用できる多目的室等の利用が多い</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田駅前図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在学、在勤の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。 市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	山田駅前図書館及び山田分室で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	6
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		68,579	68,624	68,712	68,711	66,283							
	人件費	職員数	人	5.96	5.96	5.96	5.96	5.96						
		総額(B)	千円	49,468	47,365	49,778	49,778	48,694						
	総事業費(A+B)		118,047	115,989	118,490	118,489	114,977							
	特定財源(C)		30	26	30	43	39							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	30	26	30	43	39							
	市負担(D)		118,017	115,962	118,460	118,446	114,938							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		118,017	115,962	118,460	118,446	114,938								
財源計(C+D)		118,047	115,988	118,490	118,489	114,977								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター 大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出業務、返却業務等の窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/	
			実績値	(単位:%)	8.20	6.47		
		達成度(%)		82.0	64.7			
	目標値の積算方法 受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架の蔵書を入れ替える	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	17,115.85	18,313.60			
			一般財源(単位:千円)	17,111.10	18,306.96			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	515,904.00	512,964.00	/	
			実績値	(単位:点)	706,946.00	692,185.00		
		達成度(%)		137.0	134.9			
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.20	0.17			
			一般財源(単位:千円)	0.20	0.17			
	②	指標内容 レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	6,745.00	6,347.00		/
			実績値	(単位:件)	6,347.00	6,071.00		
		達成度(%)		94.1	95.7			
目標値の積算方法 前年比増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	22.11	19.52			
	一般財源(単位:千円)		22.11	19.51				
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		山田駅前図書館は、駅前という交通利便の良い場所に建設されたこと、のびのび子育てプラザ、青少年活動サポートプラザが同じ施設内にあることから、相乗効果によりあらゆる世代が利用している。開館から5年が経過し、連携事業も軌道に乗り、定期的な絵本の読み聞かせなどの新たな取組みも増えている。山田分室は、地域に密着した図書室として、子どもや高齢者を対象にサービスを展開している。千里丘図書館の新設前と比べ個人の貸出は減少したが、地域の根強い要望に支えられ利用は変わらずにある。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00963				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00963
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

豊中市との広域連携対象館であり、平成25年度から貸出冊数の均衡を図るべく追加された経過があり、両市相互利用に重要な役割を果たしている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成22年度末に青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの連携を目指して、夢つながり未来館内に山田駅前図書館としてオープン。駅前にあり、新しいマンションに囲まれた地域であり、世代を問わず利用されている。貸出冊数、利用人数などの利用状況は高水準を保っている。青少年活動サポートプラザとの連携ではふらっとルームに通う青少年の社会参加の場の提供をしている。のびのび子育てプラザとの連携事業としては、「ひとりのびのび読書タイム」が好評であり、さらに新しい取り組みとして絵本の読み聞かせを行う「えほんのひろば」などを実施し、連携を深めている。</p> <p>山田分室は、子どもや高齢者や子どもを中心に地域に密着した運営を行っており、変わらぬ利用がある。また、近隣に学校が複数あり団体貸出を通して連携している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里丘図書館運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする												
(7) 事業概要	千里丘図書館で事業を実施。年末年始(12月28日～1月4日)を除き、毎日午前10時から午後6時まで(木・金曜日は午後8時まで)開館し、図書等資料の閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト(中高生向け)サービスなどを行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	7
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		39,294	39,304	38,761	38,820	36,087							
	人件費	職員数	人	3.05	3.05	3.05	3.05	3.00						
		総額(B)	千円	25,315	24,239	25,474	25,474	24,510						
	総事業費(A+B)		64,609	63,543	64,235	64,294	60,597							
	特定財源(C)		15	14	12	15	13							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	15	14	12	15	13							
	市負担(D)		64,594	63,528	64,223	64,279	60,584							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		64,594	63,528	64,223	64,279	60,584								
財源計(C+D)		64,609	63,542	64,235	64,294	60,597								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)図書館流通センター 大阪支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		貸出業務、返却業務などの窓口業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 蔵書新鮮度	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	9.56	8.09	
			達成度(%)		95.6	80.9	
	目標値の積算方法 受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8,525.21	7,947.34		
			一般財源(単位:千円)	8,523.54	7,945.49		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 個人貸出点数 ※団体貸出を除く	目標値	(単位:点)	450,096.00	484,680.00	/
			実績値	(単位:点)	459,820.00	483,451.00	
			達成度(%)		102.2	99.7	
	目標値の積算方法 ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.18	0.13		
			一般財源(単位:千円)	0.18	0.13		
	②	指標内容 レファレンス(相談)件数	目標値	(単位:件)	4,482.00	3,092.00	
実績値			(単位:件)	3,092.00	2,824.00		
達成度(%)			69.0	91.3			
目標値の積算方法 前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26.36	22.77			
		一般財源(単位:千円)	26.35	22.76			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		JR線に近い図書館であり、千里丘地域の住民からの長年に渡る要望により平成25年1月に開館して以来住民に親しまれ、地域と密着したサービスを展開している。千里図書館、千里山・佐井寺図書館に続き個人貸出の利用が多い。マンションや宅地開発が続いており、人口の増加も見込まれることから、図書館利用もさらに多くなると思われる。平成27年4月に開校した千里丘北小学校他、近隣小学校との団体貸出を中心とした連携を深めている。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00964				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00964
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年5月から摂津市との広域連携を開始し、両市の市民の利便性の向上に重要な役割を果たしている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>調査・相談カウンターでは、健康や趣味など地域住民が求める情報にアクセスできるように相談を受け付けている。子育て中の世代には、親子で読書の楽しさを知ることを目指し、絵本コーナーの充実や、子どもの年齢に合わせた行事を開催している。幼稚園・平成27年4月に新設された千里丘北小学校からの図書館見学の受け入れや、公民館などへの出前講座、スポーツ推進室との連携講座を開催し地域との交流を重ねている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者への対面朗読等サービス事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住の障がい者、文字情報取得困難者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障害の有無に関わらず、市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
(7) 事業概要	千里山・佐井寺図書館で、ボランティアの協力を得ながら録音図書(カセットテープ及びデジタイズ図書など)及び点字図書を製作し、郵送による障がい者への貸出を行っている。また、発達障がい児等の利用を想定して製作されたマルチメディアデジタイズの貸出や普及に向けた取組みを行っている。その他に対面朗読(音訳ボランティアが利用者と向かい合って利用者の読みたい資料を朗読する)サービスを分室を除く7つの図書館で実施している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	8
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,577	1,134	1,577	1,291	1,881							
	人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.10	1.10							
		総額(B)	千円	9,130	8,742	9,188	9,188							
	総事業費(A+B)		10,707	9,876	10,765	10,479	10,297							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		10,707	9,876	10,765	10,479	10,297						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		10,707	9,876	10,765	10,479	10,297								
財源計(C+D)		10,707	9,876	10,765	10,479	10,297								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	録音図書所蔵タイトル数	目標値	(単位:タイトル)	3,389.00	3,571.00	3,610.00
			実績値	(単位:タイトル)	3,471.00	3,510.00	/	
		達成度(%)			102.4	98.3		
	目標値の積算方法	前年度比100タイトル増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.85		2.99
				一般財源(単位:千円)		2.85	2.99	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	録音図書の貸出タイトル数	目標値	(単位:タイトル)	2,957.00	2,957.00
	実績値			(単位:タイトル)	2,780.00	3,284.00	/	
	達成度(%)			94.0	111.1			
	目標値の積算方法	過去10年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.55		3.19
				一般財源(単位:千円)		3.55	3.19	
	②	指標内容	対面朗読利用回数	目標値	(単位:回)	840.00	840.00	840.00
実績値				(単位:回)	590.00	648.00	/	
達成度(%)			70.2	77.1				
目標値の積算方法		1館月10回×12か月×7館 ※分室には対面朗読室を配置していない	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		16.74	16.17	
	一般財源(単位:千円)				16.74	16.17		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		録音図書及び点字図書の製作については、全国の点字図書館や公共図書館の動向を見ながら製作が重ならないように、図書を選びボランティアにより毎年100タイトルを目指して製作している。音訳図書の貸出や対面朗読の実績は全国的にも優れている。 本事業は、文字情報が取得困難な市民にも読書と情報のアクセスを保障する公共性の高い事業であり、平成28年4月からの「障害者差別解消法」の施行に合わせ、今後も様々な障がいを持つ市民のニーズに合わせた事業を継続して実施することが必要である。映像を伴ったマルチメディアデジターの貸出など新しいメディアにも対応している。また、来館が困難な障がい者への図書の郵送貸出やデジター図書の再生機の貸出などの事業を進めていく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	障がい者への対面朗読等サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00965				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

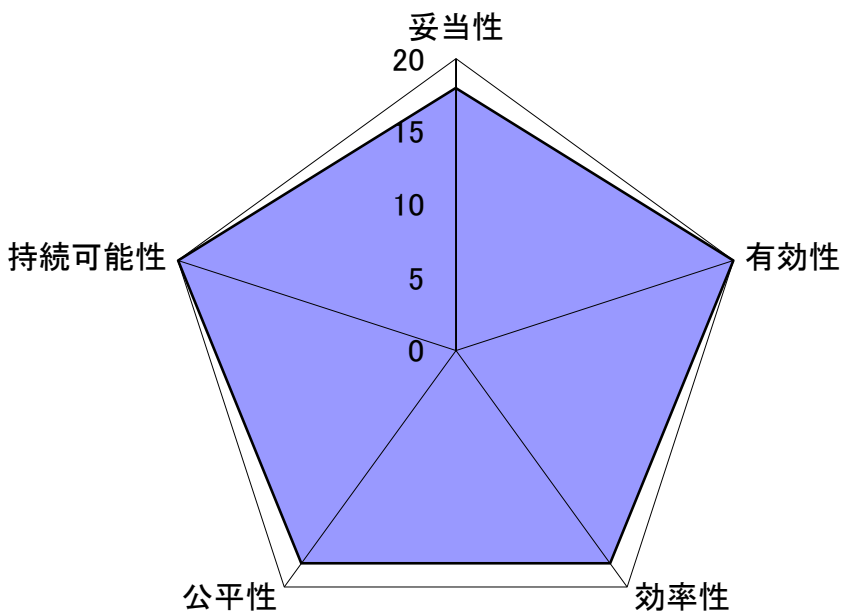
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00965
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

録音図書の所蔵タイトル数は平成27年度分から統計の取り方を変更したため、目標値より若干減となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文字情報を提供する公共図書館の役割の中でも、障がい者へのサービスは必要不可欠なものである。録音図書の製作と貸出、対面朗読などについては、ボランティアとの協働で全国的にも優れた実績を上げている。また、近年障がい者がコンピューター等を使って情報にアクセスできる環境が整いつつあるが、高齢者には利用できない人も多いため、情報機器使用方法の講習などを一部実施するなど対応している。図書館の障がい者サービスについてのPRを、本庁関連部署や障がい者団体と連携しながら行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「障害者差別解消法」が平成25年6月に公布され、平成28年4月からの施行が決定した。これにより、国や公共団体等に対し、障がい者への合理的配慮が法的に義務づけられた。
平成26年度に国立国会図書館が公共図書館から点字・音声デジターのコンテンツを収集し提供を始めた。

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者サービスボランティア養成事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和51年度	改正内容	図書館法の改正への対応											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	公立図書館の設置及び運営の望ましい基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	障がい者サービス関わるボランティア活動をしようとする市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民が技能を習得し、障がい者サービスボランティアとして対面朗読、音訳図書、点字図書の作成等の活動に参加する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ボランティア活動の機会や場所の提供することで市民の社会参加を促すことができる。また、これにより障がい者サービスの継続的提供が可能になる。													
(7)	事業概要	千里山・佐井寺図書館で図書館の障がい者サービスに携わる各種ボランティアを養成するとともに、ボランティアの技能向上のためのスキルアップ講座を実施する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	9
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		568	568	568	568	668							
		人件費	職員数	人	0.85	0.85	0.85	0.85	0.60						
			総額(B)	千円	7,055	6,755	7,100	7,100	4,902						
		総事業費(A+B)		7,623	7,323	7,668	7,668	5,570							
		特定財源(C)		299	245	298	0	349							
		(内訳)	国	199	163	199	0	233							
			府	100	82	99	0	116							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		7,324	7,078	7,370	7,668	5,221							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	7,324		7,078	7,370	7,668	5,221									
財源計(C+D)		7,623	7,323	7,668	7,668	5,570									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 障がい者サービスボランティア養成講座実施回数	目標値	(単位:回)	46.00	46.00	48.00
			実績値	(単位:回)	46.00	48.00	
		達成度(%)		100.0	104.3		
	目標値の積算方法	実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	159.20	159.75	
				一般財源(単位:千円)	153.87	159.75	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 録音図書所蔵タイトル数	目標値	(単位:タイトル)	3,389.00	3,571.00
	実績値			(単位:タイトル)	3,471.00	3,510.00	
	達成度(%)		102.4	98.3			
	目標値の積算方法	前年度比100増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.11	2.18	
				一般財源(単位:千円)	2.04	2.18	
	②	指標内容 障がい者サービス登録ボランティア人数	目標値	(単位:人)	188.00	193.00	204.00
実績値			(単位:人)	193.00	204.00		
達成度(%)		102.7	105.7				
目標値の積算方法		前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	37.94	37.59	
	一般財源(単位:千円)			36.67	37.59		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本事業は、市民の読書と情報へのアクセスを保障する障がい者サービスを支えるボランティアを養成する事業である。高齢や家庭の事情等により活動が続けられないボランティアも増えており、対面朗読や音訳、点訳図書を製作する事業等を継続して行うための担い手を生み出す大切な事業である。また、市民にボランティアとしての技能を学ぶ機会を提供することで、社会参加の機会を提供している。「障害者差別解消法」の施行を前に、継続がますます重要な事業といえる。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	障がい者サービスボランティア養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00966				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

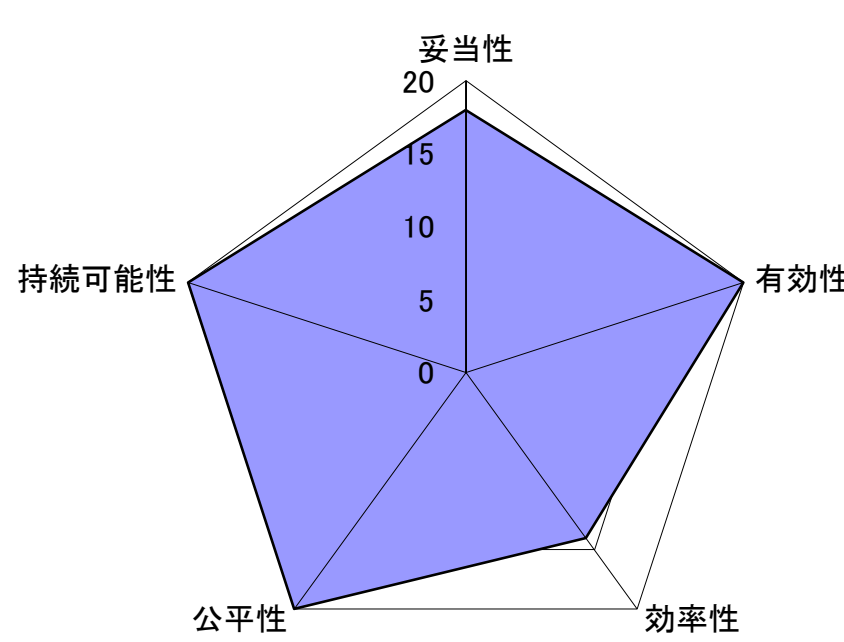
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00966
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

録音図書の所蔵タイトル数は平成27年度分から統計の取り方を変更したため、目標値より若干減となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>音訳・対面朗読、点訳ボランティアには高度な技能習得が要求されるため、養成講座も初級・中級2年間にわたり受講してもらっている。修了された受講生は、即戦力として、対面朗読や音訳・点訳図書の作成に携わっている。また、より高度な技能の習得のためのスキルアップ講座も実施している。ただし、ベテランのボランティアの高齢化が顕著であり、新たなボランティアを補充していくためには、今後も養成講座の継続が不可欠である。デイジー図書作成にも早い時期から対応し、より迅速にボランティアとして実践ができるよう講座の内容も見直し、改善を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「障害者差別解消法」が平成25年に公布され平成28年4月からの施行が決定した。

事務事業評価調書

事務事業名	ブックスタート事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正内容	平成19年度から5年間の取り組みを踏まえて課題等を整理											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、吹田市子ども読書活動推進計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市在住の赤ちゃん(4か月以上1歳の誕生日まで)とその保護者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	絵本を通じて親子のきずなを深め、赤ちゃんの心豊かな成長を応援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	子どもの読書活動の推進を図り、子どもの将来の読書力の向上に寄与する。また、子育てに不安を抱く保護者を支援する。												
(7) 事業概要	市内全図書館と自動車文庫で、赤ちゃんとその保護者に絵本を1冊プレゼントする。対象者への案内は、母子手帳に掲載されているほか、4か月健診、乳児後期健診の案内に同封して送付している(保健センター担当)。また、中央図書館で「ブックスタートのためのお話ボランティア養成講座」を開催し、講座を修了されたボランティアによる絵本の読み聞かせやわらべうた、手遊びに親しむ「ブックスタートのひろば」を平成16年1月から全館で実施している。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	11
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,668	2,464	2,668	2,480	2,598							
	人件費	職員数	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.92						
		総額(B)	千円	7,470	7,153	7,517	7,517	7,517						
	総事業費(A+B)		10,138	9,617	10,185	9,997	10,115							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		10,138	9,616	10,185	9,997	10,115							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		10,138	9,616	10,185	9,997	10,115								
財源計(C+D)		10,138	9,616	10,185	9,997	10,115								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 絵本の配布冊数	目標値	(単位:冊)	3,288.00	3,512.00	0.00
			実績値	(単位:冊)	2,730.00	3,000.00	
			達成度(%)		83.0	85.4	
	目標値の積算方法	当該年度の対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.52	3.33
				一般財源(単位:千円)		3.52	3.33
	②	指標内容 ブックスタートのひろば実施回数	目標値	(単位:回)	1,190.00	1,190.00	1,190.00
実績値			(単位:回)	1,206.00	1,203.00		
達成度(%)			101.3	101.1			
目標値の積算方法	140回×(7館1分室)+70回×1分室	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.97	8.31	
			一般財源(単位:千円)		7.97	8.31	
(2) 成果指標	①	指標内容 ブックスタートのひろば参加率	目標値	(単位:%)	200.00	200.00	0.00
			実績値	(単位:%)	256.33	224.20	
			達成度(%)		128.2	112.1	
	目標値の積算方法	参加対象乳児数(参加人数÷2)÷該年度対象者数×100 ※対象乳児が2回以上参加する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		37.52	44.59
				一般財源(単位:千円)		37.52	44.59
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>子どもの読書離れが進む中、子どもたちが本に親しみ読書の習慣を持つ環境を整備することは、大変重要であり、本市でも生涯学習課が中心となり関係部局により平成19年に策定し、平成25年に改訂した「子ども読書活動推進計画」の中でもその必要性について論じている。ボランティアグループの協力で実施している「ブックスタートのひろば」には毎年多数の参加者がある。短期的に具体的な成果を示せる事業ではないが、長期的な視点に立った時、この事業は子どもの読書力の向上に大きく寄与するものであると考える。また孤立しがちな現代の保護者のために、子育て支援の面でも貢献するものとなっている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	ブックスタート事業	事業区分	その他
事務事業番号	00967				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	中央図書館	事務事業番号	00967
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「ブックスタートのひろば」の発展事業として、対象年齢を2～3歳児に上げた「おひざで絵本」を実施している。そのためのボランティアも養成するなど、図書館と市民との協働による読書環境整備がすすんでいる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>赤ちゃんが読書に親しむ契機となる事業であるとともに、保護者にとっても、赤ちゃんとの関わりを深める一助となっている。また、絵本を配布する際には、ブックスタートのひろばを案内することで継続的な図書館利用へいざなっている。</p> <p>ブックスタートのひろばに参加する保護者にとっては、赤ちゃんをとおして他の保護者との交流を育むなど親子の居場所となっている。加えて各館で「抱っこで絵本講座」を実施し個別に読書に親しむ環境づくりも支援している。</p> <p>絵本の配布率については、100%を目指して、子育て支援課や保健センターと連携して取り組んでおり、一時低下したが、現在は80%以上を維持している。今後も100%を目指して様々な工夫を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、同法に基づき国は、平成14年に「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」を策定、平成18年度までの概ね5年間にわたる施策の基本方向と具体的方策を明らかにした。その後、府においては平成15年に、吹田市においては平成19年に「子ども読書活動推進計画」を策定した。平成20年には第2次の計画が閣議決定され、大阪府も平成23年に第二次基本計画を策定し、本市においても平成25年3月に「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」を策定した。

事務事業評価調書

事務事業名	主催行事事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	図書館法の改正等に対応											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	各種行事を通じて本や図書館に親しみ、図書館利用を促進する。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。												
		読書、子どもの成長ならびに子どもの本に関心のある人向けの「子どもと本の講座」、吹田市に関係した講師や関連する事柄をテーマとする「図書館講座じゅずつなぎ」やビブリオバトルを通じ、市民に本の世界をより深く知ってもらう行事を実施している。また、「子どもと本のまつり」や人形劇、紙芝居など子ども向け行事やガンバ大阪との連携行事「読書でガンバ」等を通じてふだん図書館を利用しない子どもたちにも図書館に足を運んでもらう取組みを行っている。また、全館で、定期的に絵本の読み聞かせや、お話し会、講座を実施している。その他、職員が選んだその年のおすすめ本を紹介した冊子を小学生向けと中学生向けに作成し夏休みの前に配布するとともに、全館でコーナーを設置し紹介している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		882	754	871	825	905							
		人件費	職員数	人	4.50	4.50	4.50	4.50	4.34						
			総額(B)	千円	37,350	35,762	37,584	37,584	35,458						
		総事業費(A+B)		38,232	36,516	38,455	38,409	36,363							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		38,232	36,516	38,455	38,409	36,363							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	38,232		36,516	38,455	38,409	36,363									
財源計(C+D)		38,232	36,516	38,455	38,409	36,363									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	主催行事参加延人数(後援事業を除く)	目標値	(単位:人)	24,256.00	27,570.00	24,867.00
			実績値	(単位:人)	27,570.00	24,867.00	/	
		達成度(%)			113.7	90.2		
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.32		1.54
				一般財源(単位:千円)		1.32	1.54	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	貸出延利用者数	目標値	(単位:人)	890,337.00	889,453.00
	実績値			(単位:人)	889,453.00	880,096.00	/	
	達成度(%)			99.9	98.9			
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.04		0.04
				一般財源(単位:千円)		0.04	0.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		子どもたちの興味、関心に合った行事を企画開催したり、市民の参加意欲を刺激する講座を開催することで、図書館の活動をアピールする等、様々な文化や知識に触れる場を提供し市民の生涯学習の推進につなげている。子ども向けの行事については、市民との協働が活発に行われ、ボランティアの図書館事業への参加による自己実現につながっている。図書館講座じゅずつなぎでは、座学だけでなく図書館関連施設へのバスツアーを企画したり、また、書庫見学デーを設けるなどして、市民が図書館に親しみをもち、生涯学習の幅を広げ図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。主催事業の参加人数については統計の取り方を変更したため見目の数は大きく減少している。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	主催行事事業	事業区分	その他
事務事業番号	00968				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

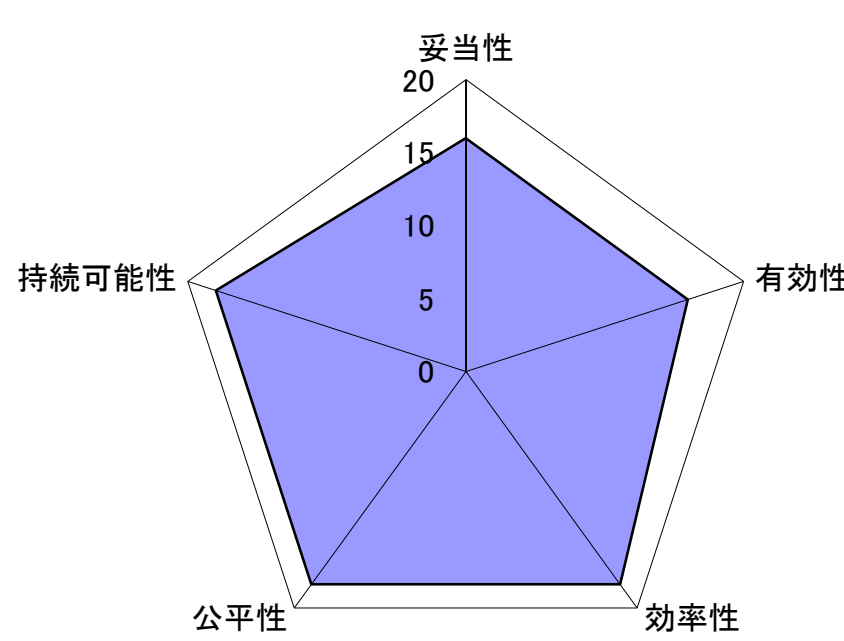
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00968
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

YAサポーター、図書館フレンズ等の市民ボランティアが行事の実施の補助として参加している。市民の交流の場と自己実現の場として利用されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子どもたちの興味、関心に合った行事を開催したり、市民の参加意欲を刺激する講座を開催することで、図書館の存在をアピールする等、様々な文化や知識にふれる場を提供し市民の生涯学習の推進につなげている。子ども向けの行事については、市民との協働が活発に行われ、専門ボランティアの図書館事業への参加による自己実現につながっている。図書館講座じゅずつなぎでは、座学だけでなく図書館関連施設への見学バスツアーを企画したり、書庫見学デーを設けるなどして、市民が図書館に親しみを持ち、生涯学習の幅を広げ、図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。スポーツ推進室と連携した運動講座は普段図書館利用をしない方への図書館のアピールができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館協議会活動事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、吹田市立図書館協議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	図書館の運営											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	図書館運営について、市民の意見を反映させる												
(7) 事業概要	年3回協議会を開催し、図書館の運営について意見を述べるとともに、館長の諮問に対して答申を行うほか、運営について外部評価を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		188	153	188	162	188							
	人件費	職員数	人	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11						
		総額(B)	千円	913	875	919	919	899						
	総事業費(A+B)		1,101	1,028	1,107	1,081	1,087							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,101	1,027	1,107	1,081	1,087							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,101	1,027	1,107	1,081	1,087								
財源計(C+D)		1,101	1,027	1,107	1,081	1,087								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	協議会実施回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	協議会予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		342.67	360.33	
				一般財源(単位:千円)		342.67	360.33	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容	図書館の運営について意見を述べるとともに年度ごとの活動について評価を行う。	目標	図書館奉仕について意見を述べる。年度ごとに外部評価を行う。				
	②	成果内容	「中央図書館の再整備のあり方(答申)」をホームページで公開。平成26年度外部評価実施。「平成26年度(2014年度)吹田市立図書館点検・評価報告書」としてホームページで公開。	達成状況	「中央図書館の再整備のあり方(答申)」、平成26年度の吹田市立図書館点検・評価報告をホームページで公開。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		行政として多様化する市民の要求を把握し、外部意見を取り入れ運営に反映していく必要があることから、協議会の設置は妥当であり今後も継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館協議会活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00969				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00969
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>図書館協議会は、図書館行政の諮問機関という性質上、有効性、効率性についての評価は難しい面がある。内容としては、図書館の運営について意見を提出する他、平成25年度より運営についての外部評価を実施してもらうなど図書館の運営に必要な存在となっている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

図書館法に基づき図書館の設置及び運営上の望ましい基準が改正され、図書館協議会による評価等の努力目標が加えられた。
 ※図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月19日文科科学省告示第172号)
 第二の一の1の(二)運営の状況に関する点検及び評価等の2「図書館協議会の活用その他の方法により、(中略)評価を行うよう努めるものとする。」
 同(五)図書館協議会の1「市町村教育委員会は、図書館協議会を設置し、地域の実情を踏まえ、利用者及び住民の要望を十分に反映した図書館の運営がなされるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	図書館の広域連携(相互利用)事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住の個人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生涯学習環境の整備 多様化する市民一人一人の生涯学習を支援し、資料の有効活用を図る												
(7) 事業概要	市民及び本市に隣接する市の市民が相互に図書館を利用できるようにする。平成23年に豊中市と協定を結び相互に3館ずつの利用を、平成25年には4館ずつに増やして試行している。現在豊中市民は千里図書館、千里山・佐井寺図書館、江坂図書館、山田駅前図書館を利用できる。吹田市民は豊中市の千里図書館、東豊中図書館、服部図書館、高川図書館を利用できる。平成26年には、さんくす図書館を大阪市民が利用できるようにした。なお、吹田市民は大阪市の図書館全館を利用できる。平成27年には千里丘図書館を摂津市民が、摂津市民図書館を吹田市民が利用できるようにした。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	98
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		135	119	0	0	191							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.00	0.00	0.35						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	0	0	2,860						
	総事業費(A+B)		2,625	2,504	0	0	3,051							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,625	2,504	0	0	3,051							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,625	2,504	0	0	3,051								
財源計(C+D)		2,625	2,504	0	0	3,051								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 豊中市、大阪市及び摂津市民の延利用者数	目標値	(単位:人)	6,698.00	8,468.00	15,611.00	
			実績値	(単位:人)	8,468.00	15,611.00		
			達成度(%)		126.4	184.4		
	目標値の積算方法	前年比増 ※大阪市とは平成26年7月から、摂津市とは平成27年5月から実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.30	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.30	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容 豊中市、大阪市及び摂津市民への貸出数	目標値	(単位:点)	19,388.00	24,517.00	40,879.00
実績値				(単位:点)	24,517.00	40,879.00		
達成度(%)				126.5	166.7			
目標値の積算方法		前年比増 ※大阪市とは、平成26年7月から、摂津市とは平成27年5月から実施。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 吹田市民の豊中市の延利用者数	目標値	(単位:人)	11,594.00	10,949.00	12,388.00
	実績値			(単位:人)	10,949.00	12,388.00		
	達成度(%)			94.4	113.1			
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.23	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.23	0.00	
	②	指標内容 吹田市民の豊中市の図書館での貸出冊数	目標値	(単位:点)	33,063.00	31,159.00	33,127.00	
実績値			(単位:点)	31,159.00	33,127.00			
達成度(%)			94.2	106.3				
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.08	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.08	0.00		
①	活動内容				目標			
	成果内容				達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	図書館施設及び資料の有効活用の面からも、事業の必要性が増している。豊中市、大阪市とだけでなく平成27年5月から摂津市とも広域連携の協定を結び、6月から摂津市民が千里丘図書館を、吹田市民が摂津市民図書館を利用できるようになった。これまで、貸出対象としていなかったDVDについても平成28年2月から広域利用の対象としたため、今後利用増が見込める。なお、現在は試行として、一定の年度毎に協定書を交わして実施している。北摂7市3町のすべての図書館で相互利用ができるように広域利用の推進について協議を重ね、平成29年度の実施に向けて条件整備を行っている。						

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館の広域連携(相互利用)事業	事業区分	その他
事務事業番号	00970				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
⑤持続可能性 (20点)	16			
①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)		5	点	
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)		5	点	
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)		3	点	
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)		3	点	
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00970
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年5月に吹田市と摂津市で広域連携の協定を結び、これにより摂津市民が吹田市の千里丘図書館を、吹田市民は摂津市民図書館を利用することができるようになった。摂津市民への貸出数は吹田市民が摂津市民図書館で借出す冊数の3倍以上である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年5月から実施(試行)し、好評である。千里中央にある豊中市立図書館が交通至便のため、豊中市市民の吹田市立図書館利用よりも吹田市民の豊中市立図書館利用が多く、約2倍となっており、貸出量のアンバランスの解消が課題となっている。また、平成27年4月、来年度の本格実施(相互に全館が利用できる)に向けた試行期間の延長を行った。</p> <p>大阪市との広域利用は、平成26年7月から実施(試行)し、好評である。東淀川区在住の大阪市民の利用が多く、順調に増加している。</p> <p>摂津市との広域利用は、平成27年5月から実施(試行)し、大変好評である。摂津市民の利用が多く、順調に増加している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館コンピュータシステム整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が使いやすい図書館システムの構築 市民のインターネットによる検索の他、図書館利用の24時間化、簡便化及びスピード化を図るとともに図書館システム利用による業務の効率化を図る。												
(7) 事業概要	昭和58年から図書館資料の貸出、返却、データ管理を行い、平成13年にはインターネットから蔵書検索ができるシステムを導入した。平成16年度にはインターネットからの予約サービスを導入し、利用者が図書館資料にアクセスしやすい環境を整えている。平成28年2月のシステム更新では、IC機器を導入し、自動貸出機、自動返却機及び盗難防止ゲートを設置し、貸出・返却が利用者自身で迅速にできるようになり利便性が向上している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	10
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		73,024	70,955	72,752	60,895	74,987							
	人件費	職員数	人	3.17	3.17	3.17	3.17							
		総額(B)	千円	26,311	25,192	26,476	25,491							
	総事業費(A+B)		99,335	96,147	99,228	87,371	100,478							
	特定財源(C)		75	4,118	76	8,096	74							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	4,000	0	7,998	0							
		その他	75	118	76	98	74							
	市負担(D)		99,260	92,029	99,152	79,275	100,404							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		99,260	92,029	99,152	79,275	100,404								
財源計(C+D)		99,335	96,147	99,228	87,371	100,478								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ホームページの更新件数	目標値	(単位:件)	1,680.00	1,680.00	1,680.00
			実績値	(単位:件)	1,796.00	1,708.00	/	
		達成度(%)			106.9	101.7		
	目標値の積算方法	月140件×12か月 ※平成25年度までは月100件×12か月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		53.53		51.15
				一般財源(単位:千円)		51.24	46.41	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	ホームページアクセス件数	目標値	(単位:件)	1,566,089.00	2,015,633.00	1,965,325.00
			実績値	(単位:件)	2,015,633.00	1,965,325.00	/	
		達成度(%)			128.7	97.5		
	目標値の積算方法	前年度比増 ※但しトップページのアクセス件数のみ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.05		0.04
				一般財源(単位:千円)		0.05	0.04	
	②	指標内容	WEB予約数	目標値	(単位:件)	574,031.00	606,529.00	643,994.00
実績値			(単位:件)	606,529.00	643,994.00	/		
達成度(%)			105.7	106.2				
目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.16		0.14	
			一般財源(単位:千円)		0.15	0.12		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		システム更新に合わせて、課題であったデジタルコンテンツの提供と公衆無線LANの整備をおこなった。平成26年度から準備を進めてきたIC機器の導入計画についても、システム更新と合わせ、自動貸出機や自動返却及び盗難防止ゲート(BDS)を設置した。100%近くの利用者がこれらの機器を利用しており、以前よりも貸出や返却にかかる待ち時間が短縮され、利便性は向上していると考えられる。また、ホームページを更新し使いやすくなった。今後も、高齢者や身体に障がいがある方など、機器の利用に不慣れな利用者層に対してはきめ細かなサポートを行うと共に、導入した機器を最大限に有効に活用できるようサービス向上に向けた改善を行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館コンピュータシステム整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01104				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01104
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

行政におけるコンピュータ利用としては、本庁のシステムに次いで高度なシステムを運用しており、情報提供から蔵書検索及び予約申し込みまで、現在の図書館サービスの根幹を支える事業であり、最近ではツイッターやフェイスブック等のSNSの活用を含め、情報アクセスのポータル役割を果たしている。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>図書館コンピューターシステムの導入により、利用者にとっては、家や外出先から図書館の蔵書検索、予約、利用状況の確認ができる他、新システム更新後は、地域の写真や、新聞記事見出しデータなども登録され、地域資料のデータベースとしても、より便利に活用してもらえるようになった。事業費については、調達時に、必要機器台数を精査することで費用の圧縮に努めた。また、レシート広告やバナー広告の募集に取り組み経費削減に努めている。新システム更新後は、ICタグ関連機器の導入で利用者の利便性やプライバシーの向上し、蔵書管理の効率化も図れている。図書館ホームページもリニューアルされ、地域に関する情報、子育て支援に関する情報など、より体系的に分かりやすく情報発信できるようになった。ホームページの更新及びアクセス数が減少しているが1月にシステム更新のため2週間程度休止していたためと考えられる。また、事業当初と比較して図書館の館数の増加やICタグ等の導入のため事業費は増大している。ICタグの導入により、事務の軽減化を図ることから市の負担は増えない見込みである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

図書館法の改正や、社会情勢の変化に伴い、平成13年に告示された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年に改正された。電子資料の作成、収集及び提供並びに外部情報に入手等、情報サービスの充実について言及されている。

事務事業評価調書

事務事業名	図書館網の整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館基本構想							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市内の図書館網を整備する						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民がより良い環境で生涯学習を享受できる。							
(7)	事業概要	図書館利用不便地域に図書館を整備するとともに、現在狭隘など課題のある図書館の拡充整備を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	中央図書館の再整備、(仮称)健都ライブラリーの整備、江坂図書館及び北千里分室の拡充について関係部局に働きかけを行う。		目標	中央図書館の移設、(仮称)健都ライブラリーの整備、北千里分室、江坂図書館の拡充	
	②	成果内容	課題であった岸部地域の図書館整備は(仮称)健都ライブラリーとして平成28年度に基本設計を行う。		達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		図書館不便地域である岸部地域への図書館整備については、図書館の長年の課題となっていたが、(仮称)健都ライブラリーとして平成28年度に基本設計を行うことになった。また、中央図書館については図書館協議会より「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出された。施設の老朽化が進むとともに、耐震化への対応が延長されていることから、早急に移設、現地建替え、大規模改修の結論を出す必要がある。北千里分室については、駅前の再整備に合わせて話し合いがなされており、継続して関係部局への働きかけを行う必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館網の整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01346				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01346
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館協議会において「中央図書館再整備のあり方(答申)」が出された。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>図書館空白地域であった岸部地域については、(仮称)健都ライブラリーとして基本設計を行う。図書館協議会において「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出され将来を見越した新しい図書館像が提示された。北千里地域については、現在千里再生室にて(仮称)北千里駅周辺活性化ビジョンの素案を作成中であり、その進捗により再整備が行えるものと考えている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	図書館資料の充実事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子(2967)

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在学、在勤の者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幅広い図書の購入により市民の知的要求に応える						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の生涯学習意欲の向上と生涯学習環境の整備						
(7)	事業概要	市民一人当たりの図書費を300円として図書の購入を行い所蔵資料の充実を目指す。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 図書購入費	目標値	(単位:円)	8,002,100.00	8,002,100.00	/
			実績値	(単位:円)	61,772,547.00	0.00	
		達成度(%)		57.2	0.0		
	目標値の積算方法 市の人口×300円	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 貸出点数	目標値	(単位:点)	4,320,084.00	4,320,084.00	/
			実績値	(単位:点)	3,545,813.00	3,543,194.00	
		達成度(%)		82.1	82.0		
	目標値の積算方法 人口×12点 ※平成35年度までの目標。 平成25年度までは、人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		図書館活動にとって命ともいえる図書館資料の充実に対する要求は、年々多様化し高度化してきている。図書館では平成25年度から図書の購入に入札制度を取り入れるなど、より多くの資料購入ができるようになってきた。今後も、国や府の補助金等などの活用をして図書資料の充実に取り組む必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館資料の充実事業	事業区分	その他
事務事業番号	01348				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01348
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>通常の図書購入に加え、平成22年度の地域活性化交付金、平成22年度以降の新館建設に伴う図書購入により、目標数値である100万冊の蔵書を達成できた。今後、蔵書の新鮮度を向上させることが市民の学習活動に直結するため大変重要な課題となっている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北摂図書館相互貸借事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成5年度	改正 内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市在住、在勤、在学の人						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市、豊中市及び箕面市の蔵書の有効活用						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	多様化する市民の資料要求に応えることにより、生涯学習活動に寄与する。							
(7)	事業概要	吹田市、豊中市及び箕面市の3市間における図書館の相互貸借事業。市内の図書館に所蔵していないリクエストされた図書を、他市の図書館から借り受け、市民に提供している。3市の図書館間の図書の運搬業務については、3週間ごとにローテーションを組んで3市それぞれが負担している。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 担当運搬回数	目標値	(単位:回)	16.00	16.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	16.00	17.00		
			達成度(%)		100.0	106.3		
	目標値の積算方法	予定担当運搬回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 3市間における借受冊数	目標値	(単位:冊)	2,143.00	2,372.00	2,510.00	
			実績値	(単位:冊)	2,372.00	2,510.00		
			達成度(%)		110.7	105.8		
	目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容 3市間における貸出冊数		目標値	(単位:冊)	1,717.00	1,732.00	1,462.00
実績値				(単位:冊)	1,732.00	1,462.00		
達成度(%)				100.9	84.4			
目標値の積算方法		前年比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市、豊中市及び箕面市がそれぞれ所蔵していない資料を相互利用することで、資料の有効活用を図り、利用者の多様な資料要求に迅速に対応している。資料費の有効活用の点からもこの事業の必要性は増している。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	北摂図書館相互貸借事業	事業区分	その他
事務事業番号	01349				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01349
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民の多様な資料要求に迅速に対応するとともに、図書館資料の有効活用を図っている。この事業は、各市が互いに配本を担当する体制で維持されており、本市では配本業務を総務室の車両担当の協力を得て図書館員が随行する形で行っている。今後はより効率的、効果的な環境の整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子どもたちに読ませたい100冊の本事業				
担当部名	地域教育部	室課名	中央図書館	室課長名	西尾 さよ子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	平成23年度までの5年間の事業推進状況を踏まえ、読書活動の更なる充実めざし推進計画を策定した。					
(2)	直近の改正	平成25年度							
(3)	根拠法令等	吹田市子ども読書活動推進計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市に在住、在学の児童生徒						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	児童生徒の読書活動を促進する。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	児童生徒の読書環境を豊かにする						
(7)	事業概要	本に親しむ環境づくりを行うため、市民委員の参加する選定委員会で選定された100冊の本を全図書館に設置し貸出を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	児童書購入冊数	目標値	(単位:冊)	13,816.00	11,351.00	10,980.00
			実績値	(単位:冊)	11,351.00	10,980.00	/	
		達成度(%)			82.2	96.7		
	目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	児童書貸出件数	目標値	(単位:冊)	1,202,828.00	1,239,363.00
	実績値			(単位:冊)	1,239,363.00	1,297,223.00	/	
	達成度(%)			103.0	104.7			
	目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		新しい図書館の増加の影響もあり児童の貸出数は増加傾向にあり、読書推進の取り組みが根付いてきていることが成果となって表れている。事業は当初の予定では5年毎の改訂を予定していたが、リストに上がっている良書の出版状況は安定しており、10年をめぐりに改訂していく。					

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	子どもたちに読ませたい100冊の本事業	事業区分	その他
事務事業番号	01350				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	01350
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年に冊子を発行して以来、子供の本を選ぶ際の参考として利用されている。全館でコーナーを設置して啓発に努めている。当初は、5年毎に改訂の予定をしていたが、良書の出版状況は安定していること、児童書の場合において基礎的な図書については変更がほとんどないことから、見直しの期間を延長し10年としている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)